

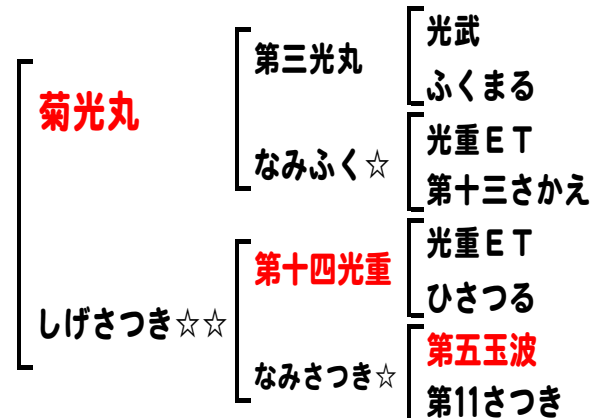
熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2010

きくみつうら

褐毛和種種雄牛「菊光浦」の選抜



問 研究のねらいは？

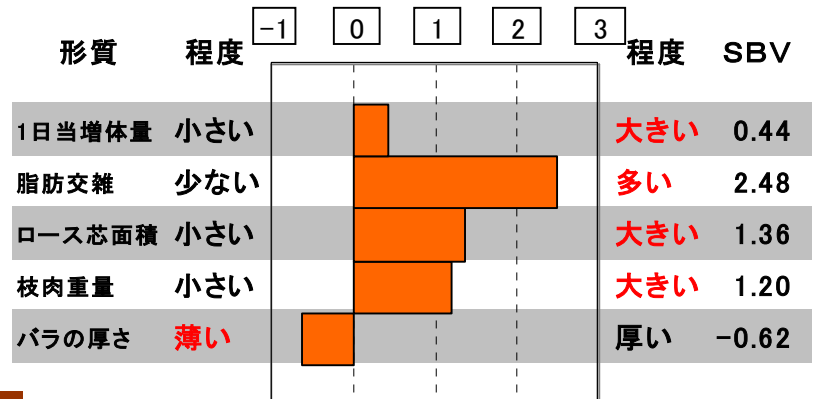
答 熊本県で昔から多く飼われている「肥後のあか牛」と呼ばれる和牛・褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 脂肪交雑はもちろん、ロース芯面積、枝肉重量に優れており、次世代の改良効果が期待されます。



性別	去勢
枝重	468kg
ロース	45cm ²
バラ厚	6.8cm
BMSNo.	5
等級	A-3



標準化育種価 (SBV) とは？

遺伝的な個体の特徴を明確にするため育種価 (遺伝的能力) を標準化した数値

畜産研究所 生産基礎技術研究室